

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』

◇学びを広げる子
◇思いやりあふれる子
◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-es1@city.tomakomai.hokkaido.jp
第 10 号 平成 29 年 1 月 25 日発行



新年に思うこと

校長 一谷 浩之

1月17日(火)は始業式でした。25日間の冬期休業を地域家庭で過ごした子ども達が学校に帰ってくる日です。ご存じの通り異例の寒波のため通学路はリンクのようなつるつる路面でした。

朝7時20分には地域の方や保護者の方が通学路の交差点に交通安全旗を持って見守ってくれています。子ども達は冬休みに取り組んだ作品などを両手一杯にかかえて元気に挨拶を交わしていました。「そこ、滑るから気を付けるんですよ。」と優しく声をかけて頂き、そして子ども達への「行ってらっしゃい」の声かけも地域の愛情が感じられる見守りでした。本当に冷え込む中、又、足下の悪い中ありがとうございます。心からの感謝の気持ちをお伝えしたく思います。

さて、子ども達は3学期のスタートです。学年のまとめを意識し次の学年にジャンプアップする準備をしなければなりません。6年生は目標がしっかりと見えています。去年の4月から卒業式を目標に計画的に努力してきたのですから。中学校へジャンプアップするための大事な3学期です。1年生は新入生を迎え先輩となるための準備です。希望と責任を感じて下さい。5年生はラストスパートを切るためのジャンプアップです。毎年最高学年がそうであったように、最終目標を見据えた4月を迎えるための準備です。責任重大ですよ。4年生は学校の中心となる高学年になるための準備。2年生、3年生は学習の基礎固めをする中学年として頑張る学年です。

それぞれの学年の子ども達が明確な目標を持って努力することは、未来への夢を実現することにつながります。子ども達の毎日の生活の中に「先の見通し」を持たせ、目標実現のための「努力の計画方法」を考えさせることは、我々大人の大きな仕事の一つです。

私の大切にしている言葉に「未来とは今である」という一文があります。夢一杯の未来は、ある日突然ポンと降りてくるものではありません。未来には必然性があるのです。今、この時点の立ち位置が未来への第一歩なのです。未来は既に始まっているのです。



さあ頑張りなさい、子ども達。あなたたちの周りには、いつもあなたたちを見守っている大人達があります。自信を持って挑戦しなさい。

さあ、私達大人の責任は重大です。今年も共に子ども達を育てていきましょう。